



2025年度 合格体験記
清修という選択

清修生の合格までの軌跡

- ✎ 先輩から学ぶ～学習のバトン～
- ✎ 清修のキャリア教育
- ✎ 親との関わり方
- ✎ 教育対談

生徒たちは、清修で、のびのびと学校生活を送り、成長を遂げました。

少しずつ『自分らしさ』や『自分のペース』を見つけ、進路を決めていきました。

清修には生徒の数だけ『合格物語』が存在します。

それは決してきれいな言葉だけで語れるものではありません。

『人生は選択と決断の連続である』とよく言われます。

生徒たちは主体的な学びを積み重ね、選択と決断を繰り返していきました。

そんな中で、自らの選択を自分の力で正解にしていく力を身につけました。

本冊子は、受験を通して自分と向き合い、進路実現を果たした生徒たちの軌跡です。

彼女たちの『選択』と『決断』の一部をここにご紹介します。



清修の学び～中学課程～

「なりたい自分」を思い描こう	足固めをする	1年	『肯定的な自己理解と他者の尊重』 新しい環境での集団生活を通して、自分の役割を理解し、他者を尊重する力を養い、有益な人間関係を構築する。	・学力推移調査	・英語宿泊研修
	広げる	2年	『働くことの意義の理解と多角的視点の養成』 職業インタビュー等の活動を通して、様々な職業を知るとともに、それぞれの社会的役割や意義を理解する。	・学力推移調査	・職業インタビュー ・GTEC
	つくる	3年	『理想の将来像の構築』 JICAプログラムや海外英語研修において国際的な視点や社会問題にも目を向け、自分はどのような形で社会貢献できるのか、将来理想とする自分の姿をそこに思い描く。	・学力推移調査 ・GTEC	・白梅学園大学見学 ・JICAプログラム ・6年生受験体験談 ・海外英語研修

清修の学び～高校課程～

「理想の自分」を実現しよう	絞る	4年	『理想の将来像の深化』 卒業後の選択肢から自分の進む道を意識しながら、その適性に合わせて文系と理系の選択をする。また、カナダ研修を通して、語学力に加え、主体的な資質や問題を解決する実践力も養う。	・進研模試 ・GTEC	・大学見学ツアー ・OG講演会 ・系統別説明会 ・6年生受験体験談
	構想する	5年	『理想の将来像実現のためのプラン作成』 卒業後のキャリアプランを描き、それを実現するには、今どうしたらよいかを具体的に計画を立てて実践する。英語研修を通して、語学力に加え、主体的な資質や問題解決能力を磨く。	・進研模試 ・GTEC	・津田塾大学キャンパスツアー ・OG講演会 ・系統別説明会 ・6年生受験体験談 ・海外英語研修
	達成する	6年	『理想の将来像実現のためのプラン実行』 希望する進路の実現に向けてプランに基づいて努力を重ね、目標を達成する。	・進研模試 ・駿台ベネッセ模試 ・GTEC	・進路講演会 ・OG講演会 ・6年生受験体験談

「できる」を増やす学びを！
自主性を身につける学びを！！

2025年度入試 大学合格実績



◆国公立大学

一橋大学 社会 東京都立大学 人文

◆私立大学

上智大学 総合人間 早稲田大学 文、社会

明治大学 政治経済 中央大学 政治経済

立命館大学 経済、産業社会 法政大学 社会、国際文化

専修大学 文、人間科 成蹊大学 文学

駒澤大学 文 北里大学 獣医

グローバルメディアスタディーズ

順天堂大学 国際教養 工学院大学 建築

日本女子大学 文学 東京農業大学 応用生物化学

津田塾大学 文芸 帝京平成大学 薬

ヒューマンケア
健康メディカル

他

◆公立専門学校

都立府中看護



2024年度入試 大学合格実績

熊本大学 弘前大学 防衛医科大学校

慶應義塾大学 早稲田大学 東京理科大学 学習院大学 青山学院大学

立教大学 中央大学 法政大学 獨協大学 成蹊大学 北里大学 順天堂大学

国際医療福祉大学 武蔵野美術大学 日本大学 東洋大学 専修大学

東京女子大学 大妻女子大学 共立女子大学 昭和女子大学 他

清修の魅力

～清修のここがいい!～

01

1人1人を
フォローする授業

少人数制の授業で、
先生が細やかに
指導してくれる

02

先生との
距離が近い

質問・相談しやすい
環境がある

03

6年間で築く
一生の友情

信頼できる人に囲まれて
安心して過ごす
学校生活

04

たしかな英語力と
ICTスキルの獲得

ネイティブとの密な
関わりと発表機会の多さ

おすすめの参考書



国語

- 得点奪取 現代文
記述・論述対策
- センター試験
共通テストの過去問

社会

- 時代と流れで覚える
世界史用語
- 共通テスト用の参考書
- 東進 世界史一問一答

数学

- 青チャートⅠA、ⅡB
- 数学Ⅲ 4step
-
- 共通テスト対策ツール
(学校から配布)

理科

- セミナー生物
- 生物合格 77講
- 福間の無機化学
- 鎌田の理論化学
有機化学

英語

- 英語解釈の技術70/100
- ターゲット 1900
- ターゲット熟語 1000
- 英語文法ファイナル
- Next Stage
- やっておきたい長文

アプリや動画

- ターゲットの友
- おうち生物
- mikan
- 佐藤幸夫の動画
- KEM BIOLOGY
- 無機化学

清修の 強み

1. 少人数制による手厚いフォロー

生徒一人ひとりに対して、丁寧に細やかな指導が可能です。
質問や相談がしやすく、1対1での指導も受けられます。

2. 先生との距離が近い

生活面・学習面の悩みも気軽に相談できる環境が整っています。
個人面談や『スコラ』などの仕組みを通して、安心して学校生活を送れます。

3. 発表の機会が豊富

英語の授業やプレゼンテーションで、パワーポイントを活用する機会が多く、
人前で意見を伝える力が育ちます。
発表を繰り返すことで、表現力・自信が自然と身につきます。

4. ICTスキルが身につく

授業や行事でのパワーポイント作成などを通じて、パソコンの操作に強くなります。
将来にも役立つ実用的なスキルが育ちます。

5. クラスメイトとの絆が深まる行事

少人数だからこそ、学年全体が仲良くなりやすいです。
行事を通じて一生の友達ができるような、深い人間関係が築けます。

6. 自分のペースで成長できる環境

6年間を通じて、自分の『やりたいこと』をじっくり見つけることができます。
安心してチャレンジできる雰囲気があり、自己実現に向かって進みやすいです。



教えて先輩!

How to study?

- スコラで学習計画を立てて継続
- 過去問題演習に力を入れた
- 志望校の比較分析をして対策
- 問題集を繰り返して理解重視

過去問の対策法は?

- 20年分など大量の過去問を演習し傾向を把握
- 赤本大学サイトの過去問を反復練習
- 形式に慣れるため反復練習
- ミスを潰す復習中心の過去問対策
- 大学サイトの出題傾向を重視した対策
- 出題傾向に近い問題集で対策

総合型選抜で有利。
一般入試でも配点が高くなる場合がある。
早めの取得がカギ。

取得するべき 英語外部試験は?

英検、TOEFL、IELTSなど

通塾は?

- 1位：個別指導
- 2位：通っていない
- 3位：集団指導・映像授業

通塾は約半数。
最近は個別指導が多い傾向。

HI



後輩たちへ



恵まれた清修の環境を最大限に生かしてチャレンジを！

危機感を持つと本気で頑張れる！
後悔しない受験勉強を。

目の前の小さな目標に一生懸命取り組もう！

一日一日を大切に過ごす。
あっという間に入試本番！

早いうちから英語の外部受験を受けたほうがいいよ！

友達とのかけがえのない時間を大切に！

すべてのことに全力で取り組む。
やりたいと思ったらすぐ挑戦！

周りに焦らされずに自分のペースを守ること。

美味しいものをたくさん食べてたくさん寝てね！



卒業生の声

～清修で学んだ先輩の声①～

一橋大学 社会学部

A.Iさん【一般入試】

高1～高2：

毎日勉強する習慣をつけること。1日5分でいいので何かしら授業外で勉強する。

英単語帳を完璧にする。

数学・英語は単元別に網羅系参考書を2周する。(私は基礎問題精講の数学IAIIBCとNext Stageを使っていました。)

高3：

春頃に第一志望校の過去問を解いてみてレベル感を知る。合格最低点や科目別の配点を調べて、自分がどの科目で何点取るか、目標点を決める。

その後、夏までは基礎的な問題の演習を続けて基礎を固める。

夏休み：時間がいっぱいあるので、一回時間を測って過去問を解いてみる。自分が何点くらい取れるか、現時点での立ち位置を知る。

秋以降は参考書などを使った問題の演習は続けつつ、過去問の演習を始めた。

直前期の1日：

・朝はやる気が出ないので好きな科目を勉強。調子が出てくる午後に苦手な科目の勉強。

・気分転換に家、塾、図書館、学校など色々な所へ移動して勉強していた。

過去問の取り組み方：

世界史の論述があったので先生に添削を頼んでいた。過去問を解く際は復習を一番大事にしていて、過去問ノートを作り、答えが知っているだけでなく、丁寧に記述の仕方まで確認していた。



卒業生の声

～清修で学んだ先輩の声②～

津田塾大学 学芸学部

W.Sさん【学校推薦型入試】

大学選択の方法

中学3年次での国内英語研修で外国人留学生との交流を通して、国際関係を学べる大学に進学したいと考えるようになった。その後、高校2年次に学校で行ったオープンキャンパスで津田塾大学を知り、校風や雰囲気自分があっていった為。

受験勉強の進め方

推薦型入試を希望していたため、日々の小テストや提出物、ATの勉強に力を入れていた。又、高校3年次からは志望理由書の作成や、面接対策をしていた。

ATと受験勉強の両立方法

スクラを通して、学習計画を立てることを習慣化していました。

オープンキャンパスで注目すべき点

通学時間、校風、就職実績などに着目していました。

大学受験時どんな気持ちで受験に臨んだか

不安な気持ちもよぎったが、先生方と一緒に対策してきたことを思い出し、落ち着いた気持ちで受験に臨んだ。

後輩へ向けてメッセージ

大学生になり改めて清修での環境がとても恵まれていたということを実感しています。清修は生徒1人1人の良さや個性を大切にしてくれる環境です。又、自分が目指したい道を応援してくださる多くの先生方がいらっしゃいます。是非、この環境を最大限に活用し様々なことにチャレンジしてみてください。

Challenge

卒業生の声

～清修で学んだ先輩の声③～

慶應義塾大学 環境情報学部

M.Hさん 【総合型選抜入試】

文理選択の決定方法

- 得意科目
- 自分の将来の夢と親が希望する分野

学校の選び方

- 大学生がキラキラしていて、自分もここに通いたいと思ったから
- 書類審査や二次試験が軽い学校

受験勉強の方法

活動！活動！活動！ とにかく活動する！

どんな気持ちで受験に挑んだのか

- 私に来てほしいと思わせてやる！
- 自分がどこまで通用するのか試すのが楽しみ

受験期に入る前からやっておいた方が良いこと
英検の勉強。5年生のうちに準1級を取れるように



進学先を決定した時期
6年生
受験した学校の数
4校

オープンキャンパスで
注目すべき点
大学生がキラキラしているか
オープンキャンパスに
行き始めた時期
5年生
オープンキャンパスに
行った数
八回（学園祭含む）

卒業生の声

～清修で学んだ先輩の声④～

早稲田大学 教育学部

J.Mさん【一般入試】

文理選択の決定方法

- 中学入学当初から、数学が一番好きで得意だったため、理系の選択肢しかなかった。
- 文系科目が好きではなく、特に英語の授業が増えるのが嫌だった。

学校の選び方

- 大学入学がゴールではなく就職のことを考えていたので、その際に有利になる大学に入りたかったから。
- 自分の学力で行ける一番上の大学に行きたかったから。

受験勉強の方法

- 学校や有料自習室で、とにかく前日に決めた量をこなす。
- 質問ができた場合は、ある程度まとめて質問することで時間の節約をしていた。

どんな気持ちで受験に挑んだのが
ここを落ちたら次はないという気持ち。



受験期に入る前からやっておいた方がよいこと
定期試験の勉強をする、休日勉強をする習慣をつける

進学先を決定した時期
6年生

受験した学校の数
15校

オープンキャンパスに
行き始めた時期
5年生

オープンキャンパスで
注目すべき点

- ・ キャンパスの雰囲気
- ・ 自分の気になる研究室

オープンキャンパスに
行った数
六回

卒業生の声



～清修で学んだ先輩の声⑤～

熊本大学 医学部

R.Tさん【一般入試】

担任との二人三脚で夢の実現へ

小学校低学年の頃は読書が好きで、人体に関する本に興味を持っていました。小学四年生のときには、将来の夢を聞かれたら必ず「医師」と答えていました。中学生のときも、ぼんやりと医師になりたいと思っていました。高校生になって、医学部を目指して本格的に勉強する日々。そんな中、担任の先生との面談で「浪人してでも医学部に行きたいのか」と聞かれたことがありました。オープンキャンパスに参加し、実際に大学生や教授の話聞いたとき、「本当に自分は医師を目指したいのだ」と確信に変わりました。清修の進路指導は、全国のデータベースに基づいた的確なアドバイスで、夢の実現に向けて頑張り続けるモチベーションに繋がりました。清修の友だちや優しい先生との出会いは、自分の意見をあまり言えなかった私に変化するきっかけを与え、今では、自分の考えをしっかりと持って話すことができるようになりました。

受験期に入る前からやっておいた方がよいこと

- 高校受験が無い分、学校のATに力を入れる。
「一週間前から急いで詰める」でもいいのでとにかく全力を出して勉強する経験しておくこと。
(問題集のテスト範囲の部分は何周もする等)
- ATが終わったら自分の勉強計画と勉強方法を振り返り、反省点を洗い出す。
私はこの方法で1～4年まで毎回学年一位を取っていた。
- 英検を受ける。
受験生になる前に準一級を取れるレベルに達すれば、大学受験の英語でも有利になる。



進路実現

サポート

生徒一人ひとりの進路実現のために、全教員で手厚くサポート！

① 模試分析シート



- 各教科で模試の問題と生徒の成績を分析



- 模試分析シート作成

個人&全体分析／模試の振り返り



- 面談で生徒へフィードバック

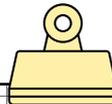
生徒一人ひとりの強みと弱みが見える化し、
1点でも多くとれるよう全力応援！！



先輩より

結果をもとに面談などで各教科
のアドバイスをもらえる！

模試分析シート



○期生(高校3年生)5月進研模試 教科別模試分析 記録シート (国語)

※生徒の良い所についてのコメントや生徒が前向きになれるアドバイスをよろしくお願ひします。

1. 生徒一人ひとりについて

(古典連携)

- Aさん：4月模試より偏差値が10向上している。この調子で伸びてほしい。
- Bさん：古文の得点率は校内平均・全国平均を越えている。授業中の読速な取り組みの成果である。今後さらなる成長が期待できる。
- Cさん：漢文の得点率が素晴らしい。家庭学習でも努力していることがうかがえる。
- Dさん：漢文の得点率は校内平均・全国平均を越えている。自信を持って進んでいくとよい。
- Eさん：古文・漢文ともに得点率が校内平均・全国平均を超えた。漢文の学習にも力を入れている点が大変良い。

(現代文)

- Aさん…読解力が向上している。このまま維持できること良い。
- Bさん…文章の読み方について、主観的読みを客観的読みにしていくように練習をしていくと良い。
- Cさん…上りがりしながらも、上昇傾向にあるので、このまま自信を持って家庭学習を継続していきたい。
- Dさん…論理を組み分ける精神状態が結果に如実に出る。動かない落ち着きを得るために本書形式の模試を活用していく。
- Eさん…論文十分な一生懸命作り上げている。それが読解力の向上の助けとなることよい。
- Fさん…自分の解き方のようなものができ始めている。自分の解き方をベースにしなが問題をごこなす中で、柔軟に対応できるようにしていきたい。
- Gさん…試験対策を家中心で行っており、課題等の提出がなかなかできないことがある。学校での学習を増やして対応していきたい。
- Hさん…自分なりに学習をしているが、正解を絞り切れない部分がありそう。読み方の基本から練習をしていく。解くスピードも意識していく。
- Iさん…志望理由書などの書類づくりを通して、自ら考えていく力が徐々についてきた。これから、スピードをつけていくことが必要。
- Jさん…能力が高いが、体調等で点数が伸び悩むことも多い。エールを送りながら、頑張らせることが大切。

2. 生徒全体について

(古典連携)

問題を解く際の所要時間に差が出てきている。人のペースに惑わされることなく、粘り強く問題に向き合えることよい。

(現代文)

文章の精読を引き続き意識していく必要がある。また、論理国語、文学国語の教科書に掲載されている文章を読むよう、授業中に指示しているが、引

3. 模試のふりかえりについて

(古典連携)

入試で漢文を使う生徒は、家庭でもしっかり学習しているようである。授業で提供される問題に取り組んで満足するのではなく、自分で必要な学習を(現代文)

今回の共通テスト対比の模試では上昇傾向の結果であったが、記述での得点力の少なさを見ると、一草一葉せずに国語力の向上に努めることが必要。実用的な学習で得点率が低めであったが、大問が増えたことによる時間配分、実用的文章の対策などを意識的に行う必要がある。夏期講座は、実用的な模試の中で、問題演習で盛り込んでいきたい。

教員による模試分析を行い、模試分析し、授業や講習に活かします。
担任は、面談などを通じて生徒や保護者様と共有します。



進路実現

サポート

生徒一人ひとりの進路実現のために、全教員で手厚くサポート！

② 学習内容リスト



- 2週間ごとの学習内容リストを作成



- 教科担当の教員からアドバイス



- 生徒の疑問や不安を解消！！

高校3年生の秋はまさに勝負のとき！
苦手や不安を克服して、ラストスパートを
全力応援！！

先輩より



学習面や生活面に関する悩みを
相談しやすい！



進路実現

サポート

生徒一人ひとりの進路実現のために、全教員で手厚くサポート！

③ My 出願スケジュール

- まずは生徒自身が記入し、提出
- ↓
- 担任が大学HPなどで出願スケジュールを確認
- ↓
- 面談で想定される動きを確認

一人ひとりが無理なく全力で取り組めるよう
日程を一緒に考えて全力応援！

先生より



多様化する入試制度を生徒、保護者、
教員で共有できる！

PARENTS VOICE

～卒業生保護者の声①～



「清修との出会いが運命を変えた」

A.Iさんの保護者

中学受験を決めたのは、小学6年の夏休み。9月から塾に通い始めるという、かなり遅いスタートでした。正直、知識も準備も足りていなかったのも、「とりあえず挑戦してみよう」という心構えでした。第一志望は都立中学校でしたが、塾の模試で何度か訪れた清修の雰囲気娘が惹かれ、次第に進学の希望を口にするように。学校見学は1月とギリギリでしたが、授業中に生徒たちが楽しそうに学んでいる姿が印象的だったようです。本人の直感に任せた進路選びでしたが、今思えばあの出会いがすべての始まりでした。

清修に入学してから、娘は少しずつ自信を持つようになりました。静かな環境と少人数の授業が合っていたのだと思います。そして何よりも驚いたのが、英語力の伸びです。最初は不安もあったオールイングリッシュの授業でしたが、日を追うごとに耳が慣れ、自然と英語が口から出るようになり、表現力も豊かになっていきました。家庭では特別な英語学習をしていなかったのに、高校2年で英検1級の一次試験に合格したときは、本人以上に私たち親の方が驚いてしまいました。まさに、学校の方だと感じています。

受験校や併願校はすべて娘が自分で決めました。周囲との進路の違いに不安もあったはずですが、感情をあまり表に出さず、日々を淡々とこなしていました。試験が近づくにつれてプレッシャーも大きかったと思いますが、親から見て、それを感じさせないほど冷静でした。卒業式の翌朝、第一志望の国立大学の合格発表。普段は静かな娘が、階段をドタドタと駆け降りてきて「受かったよ！」と叫んだ瞬間の声と表情は、今でも忘れられません。

PARENTS VOICE

～卒業生保護者の声②～



「実践的英語力を育てた学びの場」

W.Sさんの保護者

清修では低学年からネイティブの先生との授業が多く、英語に自然に触れることができました。文法や長文読解に加えて、実際に使える英語を身につける環境が整っており、授業以外でも「ミッションカード」を通じて気軽にネイティブの先生と会話ができる仕組みがありました。そのおかげで、娘も6年間、英語を抵抗なく楽しみながら継続することができました。英語に限らず、環境そのものが「学ぶ楽しさ」を教えてくれる清修は、まさに恵まれた学びの場だったと思います。

清修の魅力は、先生と生徒の距離の近さです。常に開放的な職員室、seishuネットやスコラなどの連絡ツール、定期的な個人面談を通して、学習面や生活面の悩みをいつでも相談できる環境が整っています。特に印象的だったのは、5000字論文への取り組みです。娘は担当の先生から、学校内だけではなく、メールでのやりとりなども含めて丁寧な指導を受けることができました。完成した論文を目にしたとき、娘が大きく成長したことを感じました。清修は学びの内容だけでなく、人との関わりを通して深く成長できる場であると実感しています。

学校推薦型入試に向けた受験対策では、面接の口頭試問対策として、先生自ら本を貸してくださったり、一緒に図書館で資料を探してくださったりしました。志望理由書も、完璧な形になるまで何度も添削とアドバイスを受けて仕上げていました。面接練習でも、多くの先生方が時間を割いてくださり、無理なお願いにも嫌な顔一つせず対応していただきました。学校全体で受験生を応援する空気に、娘も安心して本番を迎えることができました。

PARENTS VOICE

～卒業生保護者の声③～



「自立心を育てた6年間」

M.Tさんの保護者

清修での6年間は、娘にとって自立心を育む貴重な時間でした。遠足や理科の校外学習など、課外活動を通じて事前準備や当日の柔軟な対応力を身につけていきました。こうした積み重ねが、高校生になってからの一人海外旅行という大きな挑戦にも臆することなく取り組めた理由の一つだと思います。実体験を通して学んだ「自分で考え、行動する力」が、娘の中で確かな成長となっていると実感しています。

娘が大きく成長したと感じるのは、学校説明会での活動を通して得た発信力と表現力です。人前で話すことやパソコンを使った資料作成は初めてで戸惑いもありましたが、6年間で何度も経験を重ね、徐々に自信を持って取り組めるようになりました。説明会当日はもちろん、事前のリハーサルでは先生方から丁寧なアドバイスをいただき、内容の深め方や話し方の工夫など多くを学びました。こうした経験は、大学受験時の面接でもしっかり思いを伝える力として発揮されました。自分の考えを整理し、相手に伝える力を育ててもらえたことは、学力だけでなく人間的な成長にもつながったと感じています。

清修では中学生のうちから将来について考える機会が多くありました。そのたびに娘は先生方と相談しながら、自分の興味や進みたい道についてじっくり向き合うことができました。塾に通わず、学校の授業に全力で取り組むと決めていた娘にとって、信頼できる先生方との日々のやり取りは何よりの支えでした。総合型選抜では担任の先生だけでなく、国語科、理科、家庭科、養護の先生方に面接や課題指導をしていただきました。多くの方々に支えられ、娘は安心して受験に臨むことができました。

PARENTS VOICE

～卒業生保護者の声④～



「清修に入って」

R.Kさんの保護者

娘は小学生の頃からダンスに打ち込んでおり、所属するダンスチームは毎年大きな大会に挑んでいました。大会やイベント前は夜遅くまで練習する日々を送っていたため、「地元の中学校に進学したら部活動や勉強と両立できるだろうか？」と心配をしていました。その点、清修は中高一貫校であるため高校受験の心配がなく、思う存分ダンスに打ち込むことができました。その結果、中学校3年間毎年大会で受賞することができました。

スコラでは、担任の先生が娘の帰宅後の状態を把握し、応援やアドバイスをしてくださったため、ダンスと学業の両立が可能となりました。

まず、英検取得に向けて勉強を始めました。面談の練習はネイティブの先生が担当してくださり、頼もしかったです。英検は大学によっては入試時に点数換算されるため、取得できて良かった資格でした。

娘は一般受験を選びましたが、入試直前の自由登校期間中には、アトリウムに行けば先生が声をかけてくださり、友人が勉強している姿を見て「自分も頑張ろう」と励みになったようです。

世界史については、先生がマンツーマンで週に1度時間をとってくださり、苦手な範囲の復習を一から丁寧に教えていただきました。受験の正念場である夏休みの勉強スケジュールも細かく一緒に考えていただいたおかげで、学力を伸ばすことができました。当初は世界史が苦手だった娘も、受験知識以外にも面白い授業をしてくださった先生のおかげで、今では歴史が大好きになりました。

大学ではグループワークの機会が多くありますが、清修でのたくさんの発表経験のおかげで、パワーポイントを活用しながらグループをリードしているようです。

PARENTS VOICE

～卒業生保護者の声⑤～



「清修での6年間と娘の成長」

Y.Hさんの保護者

もともと目立つ子ではなく、趣味もこれといってない娘だったので、中学生活では埋もれてしまうのではと不安もありましたが、生徒が主体となって行事に取り組むという方針の中で、行事に関わるうちに自分の意見をきちんと言えるようになり、主体性が育てられていきました。

3年生からは清徒会に入り、学校生活に関わるようになりました。行事の準備を通して少しずつ自信をつけ、5年生では会長を経験し、全校イベントや清修フェスタの企画・運営にも取り組みました。クラスや学年の垣根を越えた意見交換の場をつくり、調整や提案を何度も先生方と話し合いながら進める過程を通して、責任感や実行力が培われました。

英語についても、3年生の頃には新任の先生に帰国子女と勘違いされるほど流暢に話せるようになっていました。これは、清修の週5回のネイティブ授業、英語カリキュラムの積み重ねによるものだと思います。日々の授業の中で、生きた英語を使いながら学ぶことができた環境があったからこそ、自然と表現力が身についたのだと感じています。

これから受験を迎える在校生と保護者の皆様には、推薦制度の理解を3年生頃から始め、英検準1級の取得は5年生までに終えておくことをおすすめしたいと思います。娘には、親としての準備が足りず、苦勞をかけてしまったと感じています。

それでも、一般入試に果敢にチャレンジし、希望の大学・学部に入学できた娘を、私は心から誇りに思います。

教育対談



森上教育研究所 代表
森上展安先生



白梅学園清修中学校 校長
南和男

中学受験研究の第一人者として、
独自の情報網をもつ森上展安先生と
学校長が対談。

＼「清修の魅力」をピックアップ／

1. 女子校である
2. 「認めて褒める教育」
3. 生徒と先生の距離の近さ
4. 自然あふれる環境
5. 自立した女性を育てる環境
6. 独自のユニークな取り組み
7. 生徒の「やりたい」を見守り応援
8. 生徒一人ひとりに目が行き届く環境
9. 英語が好きになる多くの仕掛け
10. 生徒の数だけある進路サポート



